

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2015 年 3 月号 (第 81 号)

発行責任者 鳶田 良彦



お雛様 (野老澤町造商店) 仲山富夫/撮影

ところざわ倶楽部
公開講演会

演題 『江戸庶民の笑いと文学』

事業部長 二上 拓夫

江戸時代庶民は笑いが大好きで、歌舞伎はもとより、落語などの演芸、文学などさまざまな分野で、粋で洒落な笑いが発達しました。「笑い」と「滑稽」は庶民が文化を持った江戸時代の庶民の生活に根付き、「江戸の笑いの文化」を作りだしたのです。

今回の講演の主題である「もじり百人一首」は、江戸時代のパロディーで、日本人にもっとも親しまれた「百人一首」を元歌にして著名な和歌を、あふれ出るアイディアと高度なユーモアで徹底的にパロっています。

今日落語の祖と言われる「醒睡笑」や「仁勢物語」、そして「犬百人一首」でも「もじり百人一首」が多く作られています。江戸時代の「言語遊戯」的「笑い」の文化の世界に浸ってみませんか。

講師の中山東洋大学教授は江戸文学に造詣が深く、十辺舎一九、滑稽文学、狂歌などを研究され、江戸文学関係の著書を多数出版されています。

日時：平成 27 年 3 月 25 日 (水)

場所：新所沢公民館ホール 新所沢駅西口徒歩 7 分

主催：ところざわ倶楽部

開場：午後 1 時 30 分

講演：午後 2 時～午後 4 時 入場無料

演題：「江戸庶民の笑いと文学

～もじり百人一首～」

講師：中山尚夫氏 (東洋大学文学部教授)

問い合わせ：二上 (04-2998-1958)

講師プロフィール

中山 尚夫氏

文学部日本文学文化学科教授

専門：日本近世文学

東洋大学大学院文学研究科国文学専攻

著書：「十辺舎一九研究」「十辺舎一九集 1～11」



第4回文化祭 出演・出展を募集

事業部長 二上 拓夫

文化祭スケジュール
～いきいき元気でハッピーになろう！～
日 時：平成27年5月29日（金）
場 所：中央公民館
時 間：舞台部門 13時～16時
 展示部門 10時～16時
連絡先：二上拓夫 080-1250-6151

3年前から始まったところざわ倶楽部の文化祭は今年で4回目を迎えることになりました。

会員の皆様のご協力とご支援をいただき、年々楽しい有意義な文化祭になってきております。ところざわ倶楽部は第21期市民大学修了生を迎え、現在270名の会員数となり、多くの仲間が増

えております。新しく「活いきシニア福祉の会」〈21期〉が発足し、現在20サークルです。活動も「音楽・文化・芸能」、「自然環境・歴史」、「地域の課題研究」と多岐にわたる内容になっています。

文化祭は多くの会員の皆様にご参加いただき、サークル間の交流、会員同士の交流に役立てる場になってきております。舞台部門を中心に、展示部門も更に充実した形で皆様にお見せできればと考えております。現在、いくつかのサークルで新しい趣向の出し物も検討中です。

また、展示部門でも、新しい作品をお見せできるものと思います。文化祭はところざわ倶楽部会員皆でつくるものということで、出演・出展をお待ちしております。

文化祭募集要項



本年度は下記の方針で開催いたします。

- ① 舞台演目：演目数・8演目予定 1演目／20分
（入退場も含めて）
- ・参加条件・優先度：ところざわ倶楽部の各サークル単位としての参加を予定しています。
 - ・複数のサークル合同出演 大いに歓迎いたします。
 - ・初出場サークルの出演 優先度を高くします。
 - ・文化部門の発表（昨年の根古屋城址紹介）

② 展示部門

- ・初出展の方大いに歓迎いたします。積極的にご参加ください。
- ・今まで出展された方、本年もご協力よろしく願いいたします。
- ・舞台出演・展示品申込みは3月31日締切、申込用紙用意しています。

2月度理事会報告

総務部長 稲村 洋二

2月9日、第3回理事会が開催されました。議事内容は以下の通り。

- (1) 会長挨拶
各サークルの定例会開催の都度その活動をHPに掲載して欲しい旨の要請。
- (2) 総務部案件
- ① アンケート調査について調査結果を3月の理事会前に提出。
 - ② サークル訪問スケジュールは2月、3月の予定を確認。
 - ③ サークル会員名簿の確認。

④ 会員の入退会状況について説明。

(3) 事業部案件

- ① 3月25日の公開講演会予定。
- ② 5月の文化祭について実行委員会を3月に立ち上げ。

(4) 広報部案件

- ① プロジェクターを購入。その維持管理について説明。
- ② 広報委員についてまだ委員を選出していないサークルは早急に提出するよう要請。

大館副市長インタビュー記事

市民力、地域力向上のため“勇気”と“熱意”を期待したい



所沢市はいま緩やかな人口減少に入り、少子高齢化という課題に直面している。財政面で、市税収入は市民税と固定資産税に大きく依存した構造であり、団塊世代層が年金生活に移行で税収の減少は免れません。支出面では民生費の増加、固定化で硬直化をもたらしている。このような中でシニア世代が直面している課題は何か、というテーマで大館副市長にお話をお聞きしました。(聞き手：畠田良彦)

——65歳以上の高齢者率の急激な増加は市にどのような影響をもたらしますか？

高齢者の増加は、ある意味で支える側の減少を意味します。“まち”の発展の担い手である小売業、農業、中小の事業者などで高齢化と併せて後継者不足も顕著になっています。

“まちづくり”といった面では、高齢者福祉という観点だけでなく災害発生時の対応いわば防災、防犯の面から、また住みやすさ、利便性の問題をはじめ様々な角度から総合的に考えていく必要があります。

——“まちづくり”で特に取り組んでいるテーマはありますか？

“農”のあるまちづくりを考えています。農業従事者の高齢化、遊休農地の増加が拡大するなかで、身近な緑としての活用、シニア世代の活用、若い世代で学校農園としての活用、そして施設入所者の蘇りの場としての活用などで“農”を活かしていく。“農”と“脳”の活用でしょうか。意欲のあるシニア世代の方と農家とのコラボレーションも今後一段と必要でしょう。特にこれらを推進していく上で三つの“ロー”がキーワードです。ローリスク（大規模でなく）、ローコスト（お金をかけず）、ローリターン（生きがい、社会貢献）で好いものを作る、を念頭に置いています。

——これを展開するのは「市民農園」でしょうか？

今、市では、“農”へのきっかけづくりともなる1

区画10㎡前後の市民農園、農家の指導のもと50㎡規模の「ふれあい農園」もあります。今後、区画数の拡大とともに、例えばもう少し広い農園、あるいはシルバー世代等グループで楽しめる農園などニーズの多様化に応えた形態も提案していく予定です。

——所沢の農産物のブランド化の方向性は？

所沢市の農産物は主に市場を通して販売され、市場関係者には高く評価されています。しかし、地産地消、ブランド面からのアピール力は十分ではありません。行政の力だけでなく、市民の声いわゆるロコミを活かしたブランド構築も重要であり、市民と行政との協働の推進を図っていきたいですね。

——元気な高齢者が支える側として地域デビューの場が不足と言われていますが？

不足しているのは、施設なのか、メニューなのか、活動のフィールドなのか、情報交換を進めながら問題を洗い出していきましょう。地域デビューのきっかけづくりは、市のホームページ、広報ところざわ等を通して情報発信をしています。また、市民活動支援センター、生涯学習推進センター、まちづくりセンターなどで施設、メニューを用意していますので、是非ご利用下さい。

——いま75歳～80歳で要支援・要介護者は約15%。元気な高齢者について？

現状、約15%が要支援・要介護。では85%の方が元気かといえばそうではなく、その間には、段階があります。元気な方が要支援・要介護の予備軍にならないよう、予備軍の方が出来るだけ進まないようにするためには、公助とともに自助、共助が必要ではないでしょうか。「共助」を推進するための地域コミュニティの重要さは、増しています。ところざわ倶楽部の方も市民力、地域力の向上のためにバックアップして下さい。昨年12月議決された「市民参加を進めるための条例」では「自分たちの暮らす地域を自分たちでより良くするために活動に主体的に加わるよう努める」と謳っています。市政への参加はもちろん、小さな活動（地域づくり）にも参加しましょうという意味です。高齢者の方々が「輝きを持ち続けていくために」、是非、みなさんも地域活動に“勇気”“熱意”を持って参加して下さい。

サークル訪問記 8年目を迎えた伝統ある2つのサークルを訪問

歴史散策クラブ③

東洋ライス(株)とJAXAの見学会

記 稲村 洋二

2月16日(月)「歴史散策クラブ」の行事に参加した。今回は「みんなで学ぼう認知症」サークルとの共同行事で福祉バスを利用して無洗米製造工場の東洋ライス(株)とJAXA地球観測センターの見学会であった。東洋ライスには午前10時過ぎに到着。会社全体のガイダンスを受けたあと工場内を見学した。

東洋ライスは無洗米の製造と販売を行っており、新発売製品として「タニタ食堂の金芽米ごはん」を紹介された。従来の精米法では栄養のある胚芽は糠と一緒に取り去られ、さらに糠とデンプン層の間にあるうまみ層(亜糊粉層)が糠と一緒に取り去られた白米に対し、無洗米はこの亜糊粉層をのこし栄養が豊富な米であるとのこと。

約1時間の滞在のあと物見山で各自持参の弁当を食べ、物見山から遊歩道をJAXAまでハイキング気分であつた。JAXAは3つ巨大なパラボラアンテナがあり、地球を観測してデータはDVDなどで研究機関や大学に提供しており環境問題の解明や災害

監視、資源調査といった幅広い分野で活動しているとのこと。両サークルの共同行事で大変楽しいサークル訪問であったと同時に両サークルの交流も活発で有意義であったと思う。

2月26日(木)産経新聞朝刊に、東洋ライス(株)が、第24回地球環境大賞の環境大臣賞を受賞した記事が載っていました。受賞の理由は、米のとぎ汁が水質汚染の原因となって同社はBG無洗米の開発により、環境保全に貢献したということだそうです。



ドラマティック・カンパニー④

シェイクスピアの初期の衝撃作 タイタス・アンドロニカスを読む

記 仲山 富夫



2月21日(土)、新所沢東公民館で行なわれた「ドラマティック・カンパニー」の例会へ畠田会長とともに、訪問させていただきました。

会場へ伺うと、懐かしい方々にお会いすることが出来ました。実は3人の方が市民大学での学びの友でした。ドラマティック・カンパニーは市民大学15期生が母体で結成され「文学と音楽」を中心に、月2回活動されています。サークルの活動目的と活動内容を伺うと、シェイクスピアの戯曲を読み、機会があれば朗読劇の発表も行なうそうだ。有名な作曲

家、笠松泰洋先生(入間市在住)が特別顧問としておいでいただいて学習しているとのこと。「笠松先生の話はつきない!おもしろい!」と、会員の方がおっしゃった。先生の講義が始まりましたが、私にはちんぷんかんぷんで知識のなさを実感しました。順番に、せりふの読み聞かせが始まりました。どなたも慣れてらっしゃる。笠松先生の番になると、さすがに声の大きさもさることながら情景が浮かんでくる。

第三場が終了すると、笠松先生より、この場面はどのような情景かを手振り身振りユーモアを込めて話されました。

その後、第五章 第二場まで、読み進み、本日の学習が終了しました。いやはや私は圧倒されどろろでした。笠松先生のお話は面白く、脱線しながら皆を笑わせていました。エジプトで鳩料理を食べたがまずかったそうだ。10万円のワインの話とか、ヤギは美味しい草を食べ続けて死んでしまうとかと、話題はつきませんでした。

こんな事あんな事⑬

アイスランド紀行

ドラマティック・カンパニー
柳澤 千賀子

この1月にアイスランドへオーロラを見に出かけました。アイスランドはオーロラが数多く出現する地域では一番暖かい場所なのだそうです。といっても、やはり冬は-4度ぐらいになり、風が強い為、体感温度はそれ以下になります。火山国なので温泉や間欠泉があり、また地球の割れ目（ギャウと呼ばれる）など見どころも結構あり、オーロラが見られなかった場合の保険として観光もできる国を選びました。

首都レイキャビクから110 km程離れたレイクホルトという町に泊まり、そこでオーロラの出現を待ちました。出るには出ました！でも人間の目には雲のように白く見え、カメラのレンズを通すとあのグリーンが見えるのです。レンズ越しだとかなり出ているのですが裸眼では微かなグリーンにしか見えませんでした。

残念ながらNHKのオーロラ特集のようにはいきませんでした。参加者の1人曰く、「1回目でこれだけ見られれば十分よ、私は3回目よ」、だと。

アイスランドの人口は32万人程、所沢より少な



い。日本人は70名程いるそうです。温泉を使ってハウスの中で野菜を栽培しているので、冬にもかかわらずホテルの食事には野菜も結構ありました。しかしなんと普通のスーパーでレタス500円、リンゴ1個400円！消費税は40%！物価が高いとは聞いていましたが、いざ値段を目の当たりにすると財布のひもが固くなります。今までで一番お金を使わない（旅行費用は別）海外旅行でした。

帰りは強風の為空港が1日中閉鎖、翌日コペンハーゲンから北京経由で帰国することになりました。アイスランドの透明な空、美味しい空気と水、北京空港のどんよりと濁った空、同じ地球なのかと思いました。アイスランドはやっぱ遠かった。でも、もう1度あの空と空気と水を体験したいと思っています。

一寸庵閑話

ピケティ教授とゴリオ爺さん

▼NHKテレビで1月9日から2月13日まで6回シリーズのトマ・ピケティ教授の『パリ白熱教室』を見ました。パリ経済学校の初代校長トマ・ピケティ教授は、気鋭の経済学者で、その著『21世紀の資本』はアメリカで50万部以上のベストセラーです。彼自身、先日来日して講演しています。パリ経済学校は2006年、国と企業が協力して設立、今や経済学部ランキングで世界の7位だとか。

▼彼は ①拡大する貧富の差、格差が格差を生んでいる先進国の現実、②資産収益率が経済成長率を上回ってきていること、③上位1%の人たちが全体の所得の25%を保有していることなどを、所得や資産の分配の歴史から説きます。そして、より平等な社会をめざして所得税、資産税、相続税などに累進課税をもっと進めることが望ましいと提案しています。

▼驚いたのは、彼が講義で2回、バルザックの「ゴリオ爺さん」（1835年刊）について語っていたことです。「ゴリオ爺さん」に登場する大学生のラスティニャックは上流階級にあこがれ、男爵夫人に近づき



愛人になって立身出世を図ろうとします。ピケティ教授は、このラスティニャックの真面目に働かないで生きようとするのは、当時のフランスの社会経済状況を反映していると云

います。それが可能な状況だったというわけです。

▼私はHPの投稿NO.46に「100回目の読書会」を書きましたが、その64回目で「ゴリオ爺さん」を読んだのです。10年ほど前です。経済学者が名作「ゴリオ爺さん」を引き合いに出して講義するところに、いかにもフランスという国、パリという街が有する豊かな文化、その懐の深さを感じました。

ゴリオ爺さんは、パリ上流社会で生きる娘たちのために貯めた財産を投げ出します。

その結末は・・・。

(ケン・シェイクスピア)

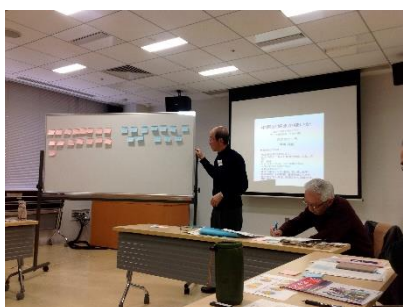
サークル活動報告

中国について考える

アジア研究会 福田 晴男

広場2月号に、倶楽部役員による「アジア研究会例会訪問レポート」が掲載され活動内容が紹介されたように、当サークルでは今年から会員相互による討論をより活発にすることとした。

まず始めに「中国と仲良くなるには？」がテーマとして取り上げられ、1月／2月の例会では、様々な観点から中国に対し皆が感じている「好きなところ、嫌いなところ」を抽出し、「中国といかに付き合っていくか、どうすれば好きになれるか」について話し合った。



地理的に近接し、歴史／政治／経済／文化的にも日本との関わりが最も深いと考えられる中国については、“現在及び将来における、両国家の共存共栄の継続が何よりも重要である”と考える。

国家レベルでの認識と、民間／個人レベルでのそれとは分けて考え判断するのが妥当と思われるが、国の指導者同士が敵視し合うような事態を招いては、民間レベルでの積極的な友好に努め良好な関係を築いたとしても、結果的には良い結果に繋がらず、不幸な事態を迎えるのではないかと危惧する。

また、“中国との関わり方／どうすれば好きになれるか”を考えるに際しては、我国が“倭国”と称された小国乱立時代や飛鳥時代を経て明治維新に至るまで、先進的な国家（中国）の政治制度や文化を導入し発展させてきたことや、明治以降の時代において、国家／民間レベルで中国人の政治家／軍人等の留学生／亡命者（中国革命／国家の父と称される孫文、蒋介石など）を受け入れ支援し、今日の中国の建国や産業の発展に大きく寄与してきたことは、謝罪すべき行為があったことともに歴史的な事実であり、現在の中国人や日本人に対して啓発し理解を求めていくことが極めて重要ではないかと考える。

サークル活動報告

徒然草を読む

葵の会 島川 謙二

葵の会の2月例会は、先月体調をくずして入院、手術、無事「生還された」池田会長の挨拶、お見舞い御礼で始まり、みなさんの安堵感につつまれて講義が進みました。

吉田兼好「徒然草」の2回目、98段「尊き聖人の言葉『一言芳談』語録」です。98段で兼好は感動したから書いたという「一言芳談」は、13～14世紀の鎌倉時代に法然など浄土宗高僧の名言、短文などを集めたものです。たとえば、『やろうかやるまいか迷った時は、やらない方がいい。仏の道を追究すると云うことは、大したことはない。ヒマ人になって世の中の事を心にかけなければいいのだ』等々です。

また、評論家・小林秀雄の随筆「無常という事」「徒然草」について小川先生が説明され、98段をみんなで音読しました。小林秀雄は「物が見え過ぎる眼を如何に御したらいいか、これが徒然草の文體の精髓である。」と云います。

これは「徒然草」の137段の『花は盛りに月は隅なきをのみ見るものかは』や「菜根譚」の『花を見るなら五分咲き、酒をのむならホロ酔い』に通じるのではないかと思います。

その後、先生から『ちょっといい話をしてください』と要望があり、指名された方が『散歩の帰り、ふと振り返ると真っ赤な夕焼けに富士がくっきり見えて感動しました』『帰宅すると40歳の甥から結婚の招待状が届いていてうれしかったです』などと話して、みんな講義の緊張感から解放されました。▼講義終了後、スタート時11名から30数名という大所帯になった「葵の会」の今後の在り方、運営などについて自由に1時間ほど話し合いを持ちました。今年の計画の具体案を幹事会で早急に作り、3月例会に諮ることにしました。

なお、去年は万葉集、井原西鶴の「世間胸算用」「日本永代蔵」などを読み、歌舞伎や能のDVDを観賞、国立能楽堂に能の鑑賞に出かけ、秩父の札所巡り、新年会、暑気払いをやりました。



徒然草の作者 吉田兼好『前賢故実』
(菊池容斎画 明治時代)

2 サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560)

3月18日(水) 定例会 13:30~16:30 中央公民館
DVD観賞

4月15日(水) 定例会 13:30~16:30 中央公民館
詳細は後報にて

傍聴席(高垣輝雄 2926-7164)

3月16日(月) 学習会、14時~新所沢東公民館
先の住民投票を振り返り地方自治のありかたを学びます。また、藤本市長の施政一期目の仕上げとなる施政方針から今年の市政を学びます。

地域の自然を考える会(広沢正己 2939-9181)

3月24日(火) トトロ12号地管理作業 10:00~12:00

4月28日(火) トトロ12号地管理作業 10:00~12:00

地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117)

3月17日(火) 定例会 9:00~11:00 新所沢東公民館
各自研究課題の発表と5月に行われるイベントについての打ち合わせ他。

4月21日(火) 定例会 9:00~11:00 予定

楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要)

3月17日(火) 歌劇「ドン・カルロ」前編 DVD鑑賞

4月14日(火) ①歌劇「ドン・カルロ」後編 DVD鑑賞
②ベートーヴェン交響曲第7番 DVD鑑賞
いずれも、(場)中央公民館#8・9 (時)13:15~16:30

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

3月7日(土) 全体会議 9:30 新所沢東公民館

3月30日(月) 板橋宿の面影をたどる&花見

集合: 所沢駅2F改札内 9:50

4月9日(木) 巣鴨・染井・六義園&花見

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

3月20日(金) 14:00~17:00 新所東公民館

聖心女子大 北欧講座に関する感想等

4月24日(金) 14:00~17:00 新所東公民館

会員各自テーマ持ち寄り 話し合い

地域の自然(加藤司則 2998-3922)

3月14日(土) 9:00~12:30 早稲田大学B地区
循環型の体験 サツマイモ畑の耕作

3月28日(土) 9:00~12:30 緑の森博物館
毎木調査 樹木名、座標、直径などの調査

所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835))

3月15日 市民大学ファーム五穀豊穰祈願祭

3月19日 府中郷土の森散策+サントリー工場見学

4月9日 サークル定例会 13:00~ 新所沢公民館

4月20~24日 景観まちづくり展示会 市役所市民ホール

ドラマティック・カンパニー(伊藤孝子 090-3402-2962)

3月7日(土)、28日(土)、4月18日(土) 10:00~12:00。
『タイタス・アンドロニカス』ほかを読み進めます。会場: 3月7日は中央公民館、それ以外は新所沢東公民館(4月4日にシェフ笠松によるランチ会を予定)

葵の会(池田新八郎 2940-0711)

3月12日(木) 13:30~16:00 中央公民館
古典講座 「徒然草を読む」 第3回

「わろき友とよき友」 講師: 小川達雄先生
※興味のある方は、気楽にご参加ください。

野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695)

3月19日(木) 狭山三十三観音を巡る

集合 東村山駅 9時15分

4月2日(木) 軽便鉄道廃線跡を歩く

集合時間等-後日連絡

公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014)

3月26日(木): 「航空記念公園散策とお花見」 9時50分

航空発祥記念館前に集合。園内の説明、散策後お花見

4月23日(木): 世界無形文化遺産登録「和紙の里(小川町)を訪ねる」 集合時間等は後日連絡

歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400)

3月12日: 所沢市内を散策する(1)

4月 3日: 桜の玉川上水羽村堰を歩く(計画中)

5月14日: 品川宿を歩く(計画中)

懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151)

3月10日(火) 10時~12時30分 西新井町公民館

「紳士は金髪がお好き」(53年)マリリン・モンロー

3月24日(火) 10時~12時30分 西新井町公民館

邦画 「秋刀魚の味」(62年) 岩下志摩・佐田啓二

民話の会(仲山富夫 090-3902-0283)

3月20日(金) 10時~13時 中央公民館

河童の詫び証文 読み合わせ

4月17日(金) 10時~13時 中央公民館

河童の詫び証文 福猫塚 読み合わせ

食を通して所沢を知る会(岡部まさ子 2928-1868)

3月31日(火) 定例会 10:00~12:00 ふらっと

みんなで学ぼう認知症(本多義博 090-3144-1438)

3月23日(月) 歯科衛生士による、認知症予防のための歯の手入れ方法(当日は歯ブラシ・スタンド式鏡持参)

4月10日(暫定) 午前中新宿御苑で花見、午後から歌声喫茶「ともしび」で合唱 ※多数ご参加ください

所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口元也 090-9820-5668)

3月17日(火) 定例会 13:30~15:30

3月31日(火) 定例会 13:30~15:30

生涯学習推進センター102号室

議題: シニア世代の活動支援のイベント企画

活いきシニア福祉の会(佐藤重松 090-5412-5760)

①□ 第5回定例会(3団体見学・交流の総括)

② 他団体との交流計画

私の健康法 第23回

黄泉からの生還 池田 新八郎

本年72歳、生来健康で古稀を過ぎても、さしたる病気を患う事も無く今日に至っていました。ところが昨年10月末、ほろ酔いかげんで路上で転倒し頭を打撲、そして、今年の葵の会の新年会（1月15日）でどうも私の言動がおかしいと、葵の会の数人のメンバーが私を支えてくださり、半強制的に病院へ直行、即入院、翌日手術（麻酔で15時間昏睡状態）10日間の入院生活を送る羽目になりました。

健康法について書くなど最も不適切な人間ですので、私の不健康法を反面教師にしてください。事の真相は昨年の転倒の際、瘤が出来ましたが、1週間過ぎて痛みが取れず、病院で診察を受けていました。MRIを撮って様子見の状態でしたが、何故かふらふらして歩行もおかしかったことは事実です。医者の診断は「慢性硬膜下血腫」との事でした。

「今度転んだらもう終わりですからね」と医者からも厳しく注意されていました。この病気は、頭部外傷後の慢性期（1～2ヶ月）に頭蓋骨の下硬膜と脳の間血が溜まる疾患で、被膜に覆われた血腫が脳を圧迫する病気だそうです。病気が進むと脳血栓や老人性痴呆（認知症）や脳腫瘍などに進む危険性もあるとか。最近高齢者に多いそうです。

健康を自慢し、昔は若いスタッフに「風邪など病気ではない、風邪は仕事をして直すものだ」などと暴言を吐き、退職後も年齢を考えず、酒、たばこ等そして夜型の気ままに不規則な生活を続けていました。

この程度ですんで良かった。本当に危なかったのでは、と今思えばぞっとしています。あの世から帰還した気分でした。葵の会の皆さんの進言が無かったら今頃どうなっていただろうと、深く感謝、感謝する次第です。



むさし野俳句会（二十七年二月）作品抄



根元まで日当る樹林春浅し	鈴木 征子
春浅し抱ふる猫のぬくみかな	利根川 啓一
お手製の饅頭（まんとう）の湯気春浅し	高 光 泉
五位鷺の五羽もねむる木春隣	中 嶋 弘子
受験子や三度乗り継ぎ上京す	橋 本 佑子
バス停の手編みクッション春浅し	平 栗 彰子
受話器より声転び来し受験の子	荒 幡 千 鶴子
早梅や天神さまは坂の町	飯 泉 陽子
風花や旅の終りに策一枚	井 出 昇
兄ちゃんの学校ねらふ受験の子	海老澤 愛之助

春浅く轍の尖る畑の道	粕 谷 の ぼ る
枯芝にふと雲の影鳥の影	河 瀬 俊 彦
早春やアイロン掛けも入念に	小 林 貞 夫
雪の朝足跡小き訪問者	小 林 典 子
梅探る地図に抜けたる社かな	佐 藤 八 郎
木の間より真青な空や春浅し	白 神 恵 子
受験子や明るき声の「終わったよ」	高 梨 千 代
受験子の朗報飾る塾の壁	中 村 直 子
虎落笛内は豆煮る匂ひかな	高 橋 三 加 子

《編集後記》

長岡 慶一

▼3月になると福寿草、雪割草等が開花するので紙の原料に使われる三桮（みつまた）も開花したかと撮りに行ったがまだ蕾であった。昨年世界文化遺産となった県内の小川町、東秩父村で生産されている和紙に使われているかを問い合わせたら残念ながら楮（こうぞ）との事でした。今読んでいるこの広報紙で使われているのは洋紙で原材料はパルプか古紙、国の分類では印刷用紙で、価格が安いのがメリットらしい。でも無駄使いはやめましょう！

▼表紙の写真を担当して1年半になりました。印刷物は表紙によって読者が手にするか、素通りするかどちらかだと書店で聞きました。会員が情熱を傾けて書いてくれた原稿は、一人でも多くの会員に読んでもらいたいです。同様に会員以外の方々にも読ん

でもらい私達の活動を知ってくれたら、地域に少しでも役立ちます。これも広報紙の役割だと思っています。そこで表紙の写真も「え、何これ？」「変わったな！」と思わせる写真を難しいが掲載することが大事だと思う

▼最近友人が川柳に興味を持ち始めたそう。何故かと訊くと老化防止だと言う。すると別の友人がそれなら「男の料理作り」だと言う。どちらも苦手な私は両方とも納得。手始めに牛蒡、ニンジンできんぴらを作った。そんな料理じゃないといわないで。

▼初めて読んだ川柳。

「レシピみて作った料理もう忘れ」

「筋トレを始めてすぐに筋肉痛」

「広場」問合せ 髙田 良彦 090-5550-8015

平成 27 年度 第 8 期
ところざわ倶楽部

新入会員紹介

平成 27 年度第 8 期「サークル説明会・講演会」が 1 月 30 日開催され、市民大学 21 期修了者の入会が締め切られました。最終的に新入会員は 26 名でした。ところざわ倶楽部に入会され、フレッシュで気力溢れる 21 期新入会員の皆さんに抱負を語って頂きました。今後のご活躍を期待いたします。

(敬称略)



新井 アキ江
(懐かしの映画・鑑賞会)
出身地：所沢市
趣味：陶芸・社交ダンス
ウクレレ

市民大学終了後の見聞を楽しみに入会いたしました……。一緒に学んだ方々との集まりに参加したいので！



生田 直
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：広島県三原市
趣味：写真・ゴルフ

技術系人間で、文学・古典芸能・美術など文化系に憧れに近い形で市民大学に入学。多くの友人に恵まれ学んで良かったと満足しています。老いたりと言えども高邁な志で頑張ります。



井上 守
(懐かしの映画・鑑賞会)
出身地：富山県
趣味：ガーデニング・読書・水泳

市民大学の 2 年 間でグループの皆さんと一緒に勉強を通じて触れ合った楽しさを大事にしたい、またところざわ倶楽部メンバーと共に引き続き楽しみたいと思入会いたしました。ご指導お願い致します。



井上 幸夫
(所沢の自然と農業)
出身地：愛知県岡崎市
趣味：野菜作り・自然観察・読書 (歴史・ノンフィクション)

所沢は都会と田舎を自由に出入りできる街だと思います。娯楽や文化に親しみ、自然を満喫し健康を維持していきたい。ところざわ倶楽部の皆さん、どうぞよろしく。



大森 博子
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：東京都葛飾区
趣味：演劇鑑賞・読書・街歩き

加入サークルは福祉です。今までは支える側であった自分が支えられる側に身を置く立場になって、学ぶべき事は何だろうと考えたからです。それぞれの体験に基づき意見交換、勉強をしたいと思います。



金子 勝
(所沢の自然と農業・懐かしの映画鑑賞会)
出身地：新潟県長岡市
趣味：家庭菜園・麻雀・ゴルフ

所沢に居を構えて 40 年余。天変地異は少ないが夏は暑く冬は寒い。しかし、住んで良かった所沢、住み続けたい所沢、元気出そうな所沢。

—所沢大好き人間のつぶやき—



亀山 紀美子
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：栃木県足利市
趣味：美術・音楽鑑賞・旅行

市民大学で学んだ高齢者福祉を継続し、サークルを通して力を合わせ地域に向けて活動出来たら良いと思っています。シニア世代を楽しく過ごせるようにと願っています。



木口 温子
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：東京都
趣味：緑の樹木や花を眺めること。
福祉グループに参加して、介護

をする側より受ける側の高齢者になりそうですが、その時が 1 日も遅いことを願い、明日でなく今日を大切に過ごしたいと思っています。



小玉 正男 (アジア研究会)
出身地：東京都
趣味：温泉旅行・スポーツ吹き矢・俳句・ドライブ・料理

ところざわ歴 30 年、旧町に 8 年。旧町の友人から市民大学を薦められ 2 年間学びました。友人も増え、修了後も友人を増やすことを考えました。先ずは友人が加入しているグループに参加しました。



佐藤 重松
(活きいきシニア福祉の会・懐かしの映画・鑑賞会)
出身地：岩手県奥州市
趣味：読書・カラオケ・将棋

歳月人を待たず、尚、日暮れて道遠し、の感あり。気がつけば古稀目前！廃用性萎縮を招かないよう、頭（脳）も身体も程よく使い、既知と未知なる人との触れ合いを楽しみ、友好を深めたいと加入。



繁村 隆巳
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：鹿児島県
趣味：小旅行・社寺巡り・ゴルフ
私の郷里、薩摩藩島津家中興の祖

島津忠良の作った有名な歌に「いにしへの道を聞いても唄へてもわが行いにせずば甲斐なし」とある。机上理論より実践行動が重要の意 まさに市民大 O B の王道なり



鈴木 誠
(懐かしの映画鑑賞会)
出身地：静岡県
趣味：ゴルフ・グランドゴルフ・囲碁・太極拳・手打蕎麦

積極的に何でも取り組んでいるリタイア組に接して刺激を受け、今の自分を見直した結果、あまり機会の少ない映画の世界、それも一昔以前の映画の鑑賞会を知り入会いたしました。



滝沢 富子
(地域の祭り研究会・葵の会)
出身地：秋田県横手市
趣味：日本舞踊・古典

ところざわ倶楽部について理解不足でした。市民大学が終わると決まって外出することが無くなるので、学びを継続し、友人・知人を作っていきたいと思っています。



豊島 美孝
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：東京都
趣味：カラオケ

少子高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者に達する 2025 年はどうなっているだろうか。費用負担は、施設は、地域福祉ケアシステムは機能しているか等、世の中の推移を見ながら勉強したい。



長坂 貴美子
(野老澤の歴史をたのしむ会)
出身地：山梨県
趣味：切り絵・絵手紙・旅行

ところざわ倶楽部に入会して皆さんと一緒に語りあったり、見学したりして楽しみを持ちたいと考えていました。それが 12 月中旬より膝を痛め、医者通いで、年を感じる今日この頃です。



中村 修市
(傍聴席・活きいきシニア福祉の会)
出身地：山形県山形市
趣味：家庭菜園・アメリカンフットボール観戦

2 年次のグループワーク選択に迷いましたが、福祉に決めました。これから通るこの道、高齢化社会に目を向けて備えたいとの思いからです。



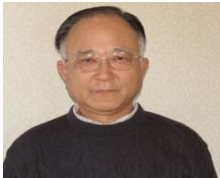
篠原 充季
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：所沢市
趣味：読書

コメントはありません。



杉本 哲良
(活きいきシニア福祉の会)
出身地：熊本県
趣味：ヨット・ゴルフ・書道・シーフード料理

今の介護保険制度で、高齢者の福祉を支えることができるか？

 西脇 英夫 (野老澤の歴史をたのしむ会・懐かしの映画・鑑賞会・葵の会・歴史を楽しむ野老会) 出身地：愛知県名古屋市 趣味：漢詩づくり・畑仕事・クラシック音楽鑑賞 特技：手作りビール 変形性膝関節症ですが、「求めてやまぬ探究心がある限り君は若い」(S. ウルマン)を目指します。	 山田 忠男 (活いきシニア福祉の会) 出身地：兵庫県 趣味：読書・音楽鑑賞 自助、互助によりお互い支え合いながら、喜びと活気のある高齢期を送り“改革”の名の下に福祉を切り下げようとする政治、行政に物申す一人でありたいと願っている。
 日高 和子 (歴史を楽しむ野老会・野老澤の歴史をたのしむ会) 出身地：神奈川県 趣味：旅行・ウォーキング 広報・先輩のお話を伺い、魅力を感じ入会いたしました。よろしくお願い致します。	 三上 いくよ (アジア研究会) 出身地：関西 趣味：名所めぐり・散策 21 期在学中は「地域の自然」で、早稲田大学近辺やトトロの森を歩き所沢の緑の多さを実感した。今度「アジア研究会」に入会したのは世界について知らないことが多く、広く、浅く学びたいと思った。
 安西 栄子 (懐かしの映画・鑑賞会) 出身地：栃木県宇都宮市 趣味：温泉旅行・ハイキング・映画鑑賞・ウクレレ ところざわ倶楽部のサークル活動を広報紙で見、どれも楽しそうなので、是非他にも入会したいと思っています。これから検討しますのでよろしくお願い致します。	 道江 義頼 (所沢の自然と農業) 出身地：東京都 趣味：水墨画・書道・映画鑑賞 私のテーマは“ふるさと所沢にもっと愛着を”。ところ学で大堀先生の「地域の自然」、市民大学で淵野先生の「食と農業の将来」を学び、ぴったりのサークルがあったこと。GFN会員、市民ファーム会員。
鈴木 征夫 (野老澤の歴史をたのしむ会・葵の会) 出身地：東京 趣味：写真・テニス・俳句・野菜作り 「今が一番若い」と考え、諸活動に参加するようにしています。よろしくお願い致します。	西山 正子 ※皆さん、音楽、映画、旅行、ゴルフ、読書等多趣味でセカンドライフを謳歌されているようです。また老後の福祉に強い関心を持たれているようです。



▲サークル発表会 (活いきシニア福祉の会)

◆21 期新入会員の皆様へ◆

21 期市民大学修了者の皆さん、ところざわ倶楽部に入会くださり有難うございました。皆さん、入会されたサークルでそれぞれご活躍中と思いますが、ところざわ倶楽部も 8 年目を迎え、各サークルの地域での地道な活動も、徐々に稔りつつあります。初期の会員は後期高齢者になっている方も増えていますが、皆さんの新しい活力をところざわ倶楽部に導入して、新たなところざわ倶楽部の花を咲かせてください。そして充実したシニアライフを過ごされることを……。

第 8 期 ところざわ倶楽部サークル一覧

平成 27 年度第 8 期は「地域の祭り研究会」が休会、新しく「活きいきシニア福祉の会」(21 期)が発足し、前期と同じく 20 サークルです。8 年目を迎え、研究、学習が深まり地域への活動にステップアップしているサークルもあれば、まだ学習段階で飛躍へ向け研鑽を積んでいるサークルもあります。ところざわ倶楽部の各サークルの地道な活動が、シニア世代の団体として地域に根づき、影響力を持ち、徐々に力を発揮しています。

No.	種	サークル名	設立・代表者	活動内容
1	音楽・文化・芸能	楽悠クラブ	14 期・甲田和巳	オペラをとおりし、メンバー相互の交流をはかる。また、ミュージカル、音楽・映画等鑑賞
2		ドラマティック・カンパニー	15 期・伊藤孝子 090-3402-2962	シェークスピア戯曲の朗読。 笠松泰洋先生の熱心な指導が魅力
3		葵の会	16 期・池田新八郎 2940-0700	古典文学・古典芸能を学び心の糧とする。 25 年：古事記 26 年：万葉集 27 年：徒然草
4		懐かしの映画・鑑賞会	19 期・二上拓夫 080-1250-6151	懐かしい良き時代の映画を鑑賞 鑑賞後、上映された時代を振り返り談笑する。
5		民話の会	19 期・仲山富夫 090-3902-0283	所沢の民話を掘り起し学ぶ。 長生会・小学校・倶楽部文化祭等で民話を語る。
6	自然環境・歴史	地域の自然を考える会	14 期・広沢正巳 2939-9181	緑に親しみ、自然観察会を行う。 生物多様性に関するビオトープの学習
7		地域の自然	15 期・加藤司則 2998-3922	所沢の緑の現状を知り、保全に努める。 植生調査、保全再生活動、循環型農業の体験
8		所沢の自然と農業	15 期・清水仁一 2944-8835	環境保全活動や農業の活性化の為、農家経営の 応援。関連するボランティア活動に参加
9		歴史散策クラブ	15 期・大河原功 2943-2004	市内、周辺地域の歴史、文化財を学ぶ。 神社仏閣、江戸の歴史スポット等を散策
10		野老澤の歴史を たのしむ会	16 期・小倉洋一 2949-4965	所沢市、周辺地域の歴史を学び足跡を巡る。 所沢に影響を与えた近現代の人、物を学ぶ。
11	地域の課題研究	歴史を楽しむ 野老会	19 期・居田治 2903-3400	歴史を訪ねて所沢を歩き、楽しみ、親睦を深め る。所沢の外にも活動範囲を広げる。
12		傍聴席	14 期・高垣輝雄 2926-7164	地方自治とメディアを中心に課題を学ぶ。市議 会傍聴、研修会他をブログで情報発信する。
13		アジア研究会	14 期・杉浦正紀 2949-5560	歴史的、経済的に関係の深いアジアについて学 ぶ。講演会、留学生との懇話会、ビデオ鑑賞
14		地球環境に学ぶ	14 期・塚本二郎 2942-3117	環境問題の学習で得た知識、体験を地域に生か す。定例会で各々研究発表し、意見交換。
15		北欧の会	15 期・樋口俊夫 090-6483-7993	豊かでゆとりのある北欧の国の社会システム を学ぶ。DVD鑑賞、会員の自主発表。
16		公園を楽しむ会	16 期・渡部正俊 2921-3014	関東近郊の公園や史跡の散策と調査。航空公園 発見ツアー、ボランティア活動への参加。
17		食を通して 所沢を知る会	20 期・岡部まさ子 2928-1868	「食」をキーワードにコミュニティーの輪を広 げる。地産地消の推進活動、地元産の料理教室
18		みんなで学ぼう 認知症	20 期・本多義博 090-3144-1438	「認知症を発症することなく生涯を全うした い」を願い、予防方法を学ぶ。
19		所沢シニア世代地域 デビュー支援の会	20 期・田口元也 090-9820-5668	シニア世代が多方面に社会活動できるような 環境づくり。高齢者が社会参加できるイベント
20		活きいきシニア 福祉の会	21 期・佐藤重松 090-5412-5760	高齢者福祉の学習。高齢者相互扶助の調査、実 践。公助・地域福祉の提言他